



Juntos!! 中南米理解促進交流プログラム
エクアドル派遣事業
(対象国：エクアドル)

1 プログラム概要

外務省が推進する「Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム」の一環として、日・エクアドル外交関係樹立100周年の機会を捉え、3月17日(土)から3月26日(月)までの8泊10日の日程で、エクアドルへ日本の大学生・大学院生・社会人5名が派遣され、日本の政治、社会、歴史、文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指したプログラムを実施しました。参加者は、青年海外協力隊の活動サイト、バナナ農園、野口英世展示会(グアヤキル市博物館)などを訪問し、日本とエクアドルの関わりについて学びました。

また、100周年運営委員会やカトリカ大学の学生との交流を通じて、現地の方に対する日本の情報発信をすることができました。

3月25日(金)には、各参加者から野田駐エクアドル日本大使に対して、プログラムでの学びや気づき、帰国後の活動について発表しました。

2 参加人数

5名

3 訪問国

エクアドル

4 日程

3月17日(土)

出発前オリエンテーション(成田空港)

成田国際空港より出発(米国・ヒューストン経由)、キト着

3月18日(日):キト

日本関連施設 視察(キト市植物園・カロリナ公園内の日本庭園(野口英世胸像含む))

旧市街 視察

3月19日(月):キト

在エクアドル日本大使館 表敬訪問

JICA エクアドル事務所 表敬訪問

トーレス・エクアドル外務省アジア部長 表敬訪問

青年海外協力隊活動サイト 視察(NGO 勤労青年技術養成センター管轄の幼児センター)

在留邦人・100周年運営委員会関係者との夕食会兼インタビュー

3月20日（火）：コンコルディア，サント・ドミンゴ

青年海外協力隊活動サイト視察（エル・ロサリオ小学校）
バナナ農園（田邊農園）訪問・視察
田邊農園主との昼食
古川農園 視察，関係者へのインタビュー
古川農園主催夕食会

3月21日（水）：サント・ドミンゴ，キト

草の根無償資金協力「シモン・ボリバル地区バナナ製粉工場建設計画」サイト 視察
サント・ドミンゴにおけるカレンダー展への参加
一般文化無償資金協力「国際ラテンアメリカ情報高等教育センターに対する地上デジタルテレビ研修制作用機材計画」 視察
元文部科学省国費留学生・カトリカ大学学生との夕食会兼意見交換会

3月22日（木）：グアヤキル

日本公園（野口英世像）視察
技術協力「地震に強い街づくりプロジェクト」実施機関・危機管理庁 訪問・インタビュー
シモン名誉総領事主催昼食会兼インタビュー
野口英世展示会視察（グアヤキル市博物館）
市内視察（マレコン，ラ・ペーニャ地区）

3月23日（金）：キト

日本へのチョコレート輸出企業関係者「Pacari」との意見交換
野田駐エクアドル大使主催報告会
歯科医訪問（Flores Dental Clinic）

3月24日（土）：キト

赤道標視察

3月25日（日）

キト空港出発，米国・ヒューストン経由 （機中泊）

3月26日（月）

成田空港到着

3. プログラム記録写真

	
<p>3/18 キト市内視察（野口英世像）</p>	<p>3/18 キト市街視察（旧市街）</p>
	
<p>3/19 在エクアドル日本大使館表敬訪問</p>	<p>3/19 JICA エクアドル事務所表敬訪問</p>
	
<p>3/19 トーレス外務省アジア部長表敬訪問</p>	<p>3/19 青年海外協力隊活動サイト視察（NGO 勤労青年技術養成センター管轄の幼児センター）</p>



3/19 在留邦人・100周年実行委員会関係者との夕食会兼インタビュー



3/20 青年海外協力隊活動サイト視察（エル・ロサリオ小学校）



3/20 田辺農園（バナナ農園）訪問・視察



3/20 古川農園訪問・視察，関係者へのインタビュー



3/21 草の根無償資金協力「シモン・ポリバル地区バナナ製粉工場建設計画」サイト視察



3/21 サント・ドミンゴにおけるカレンダー展への参加



3/21 一般文化無償資金協力「国際ラテンアメリカ情報高等教育センターに対する地上デジタルテレビ研修制作用機材計画」視察



3/21 元文部科学省国費留学生・カトリカ大学学生との夕食会兼意見交換会



3/22 技術協力「地震に強い街づくりプロジェクト」実施機関・危機管理庁訪問・インタビュー



3/22 シモン名誉総領事主催昼食会兼インタビュー



3/22 野口英世展示会視察（グアヤキル市博物館）



3/23 日本へのチョコレート輸出企業関係者「Pacari」との意見交換

	
<p>3/23 野田大使主催報告会</p>	<p>3/24 赤道標視察</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆今回のエクアドル派遣事業では、日エクアドル交流に関わる施設の視察やエクアドルでご活躍される日本人の方々にお話を伺う機会が多く、まさに日エクアドル外交関係樹立100周年を迎えるにふさわしいプログラムとなった。

訪問先の中で印象に残っている場所として、第一に、日本のODAによって支援されている様々な施設が挙げられる。日本の支援は、教育現場から、農村におけるバナナ製粉工場建設や地デジ対応機材の供与、地震津波対策のノウハウや手法の提供など、幅広い分野に渡っている。現地の人々から支援がどのように役立てられているかを伺い、また、自分の目で見ることによって、日本はどのようにエクアドル社会の発展に寄与しているのかを知ることができた。第二に、日本から渡った人々によって開拓され今では大農園となった、バナナ栽培の田辺農園とアバカ栽培の古川農園への訪問も印象深かった。生産されたバナナやアバカは日本にも多く輸出され、コンビニなどの身近な場所で販売、利用されている。日本人の農園が創業から現在まで、日エクアドルを結ぶ架け橋の役割を果たしてきたことを初めて知った。

遠く離れたエクアドルは多くの日本人にとって馴染みのない国であり、今までは私自身もその一人であった。しかし、今回日本とエクアドルの間でどのような交流が行われてきたのかを学び、エクアドルに親近感を覚えるようになった。また、今後も経済や文化を通じて両国が外交関係を深めていくことができるという可能性を感じた。皆が少しでもエクアドルについて知ることがその一歩になると考え、アクションプランの実行を含め、エクアドルがどのような国なのか、自分の視点から得た情報を共有していきたいと思う。

最後にこの場を借り、エクアドル派遣事業を盛り多きプログラムに作り上げてくださった方々に心より御礼申し上げたい。

◆1918年に修好通商航海条約を締結してから100周年という記念すべき本年にエクアドルを訪問し、これまでの歴史を辿り知見を深めると共に、我々若者が今後紡いで行く次の100年について提言を行い、その一端を実行する事が出来ました。渡航以前はコーヒーやカカオなどに代表される第一次産業やガラパゴス諸島といった観光業についての僅かな知識しか無かったものの、黄熱病の研究に貢献した故野口英世博士をはじめとし、様々な分野

で偉業を残してきた日本人の影響について現地で学ぶ事で、日常生活上、身近に存在するエクアドルを感じました。我々が頻繁に利用するコンビニエンスストアの商品が、日本人がエクアドルに築き上げたバナナの大農園で生産されたものである事や、2004年より発行されている千円紙幣の野口肖像がエクアドルで撮影されたものであるという点は、あまり知られている事実では無いかと思えます。

一方で、サント・ドミンゴ視察時に、お祭り用の羽織を身に纏い、折り紙の鶴を教える催しを開いた際には、学生や現地の住民の方々に非常に盛況であり、日本への関心が高いエクアドルの方々の姿を垣間見る事が出来ました。更に、元国費留学生や日本語学習者の方々と交流する機会があり、流暢な日本語を話される事に驚いたと同時に、スペイン語を専攻、もしくは第二外国語として勉強する日本人学生のエクアドル留学を奨励する事で、双方の人的交流の更なる活性化に取り組むべきであると捉えられました。海外の青年との交流プログラムは年々増加しており、学生主体で運営されているものも珍しくは無い事からも、今回の参加経験を活かし、日エクアドル間の友好関係を一層強化するべく、そうした機会が発足する様に積極的に周囲に発信していきたいと思えます。

この様に、限られた日程ではありましたが、数え切れない程多くの出会いと貴重な経験がありました。今後も本プログラムが持続・発展する事で、将来、日本と中南米諸国が国際社会を有効的且つ前向きな姿勢へと推進する主動力を共にする事を期待すると同時に、この場をお借りし、本プログラムを実りの多いものへと導いてくださった方々に心より感謝を申し上げたいと思えます。

5. 参加者の対外発信

	
<p>プログラムの内容を纏めた動画が完成しました！ 首都である Quito を中心として、Santo Domingo や Guayaquil で、日本とエクアドルの外交関係樹立 1918 年から現在までの 100 年の間に先人たちが築き上げてきた友好な二国関係を辿る 10 日間となりました。</p>	<p>日本で留学していたエクアドル人の方々と日本語を勉強している学生と楽しくお話ししながら夕食を食べました。日本とエクアドルの架け橋となっている方々と交流することで、両国の親密な関係を実感することができました。</p>

